

「教育の変化」+「人材育成」

岡部大介
(東京都市大学)

ファブ社会における教育と人材育成

- ファブ社会とは、デジタルとフィジカルの間で生まれた人間が活動する”新しい空間”=「デジタルな世界」(田中)
 - 越境: 情報と物質をしなやかに行き来するスキル (田中), ハイブリッド人材(田中), 境界横断型人材, 垂直的学習 --> 水平的学習
 - メタデザイン: 市井の人びとのデザインを支援する人材
 - PBL: Project Based Learning --> Problem Based Learning, Performance Based Learning

ファブ社会における教育と人材育成

■ Global Northが直面する教育的課題

- 安定し、高品質な職業/就職に向かうためのこれまでの学校教育👉スキルや知識を「保存」し、それを適応し、社会化のためのツール(tool and result).
- 大卒の新入社員、給与額減少. 教育の職業的意義の低下. 👉今後労働力が必要となる予想される分野はサービス業に集中.

ファブ社会における教育と人材育成

■ 脱学校の社会：イヴァン・イリイチ

- 学校の中で評価され、学校から価値を受け取ることを「善し」として疑わなくなる.
- 学校「的」な文脈で教授されることのみを「教育」だとみなすことへの馴化

想像力の学校化

- 教育のみならず、「健康」や「安全」においても同様.

ファブ社会における教育と人材育成

■ Connected Learning (Mizuko Ito, et al, 2013)

- 学習とは社会的なコンテクストに埋め込まれ、興味関心に駆動され、市民参加や政治参加の機会に向かうものであるという概念であり運動。
- (1) interest driven learning
- (2) peer supported
- (3) academically oriented

ファブ社会における学習

- 越境人材：情報と物質をしなやかに行き来するスキル（田中），ハイブリッド人材（田中），境界横断型人材，垂直的学習 → 水平的学習
- メタデザイン人材：市井の人びとのデザインを支援する人材
- PBL人材：Project Based Learning → Problem Based Learning, Performance Based Learning

ファブ社会における学習(岩寄, 水野, 岡部)

■ 越境人材:

- 英語力: 多様なリソースへのアクセス可能性.
- ファシリテーション力: 利害調整とプロジェクトを前進させる力(デザイン+ファシリテーション).
- 世代継承性・歴史性: 次の世代に託す動機. 経済中心 → 他者への配慮と想像力.

ファブ社会における学習(岩寄, 水野, 岡部)

■ メタデザイン人材: 市井の人びとのデザインを支援する人材

- ファシリテーション力: 利害調整とプロジェクトを前進させる力(デザイン+ファシリテーション).
- 不完全性許容力: 短時間での試行錯誤を積み重ねるタイプのものづくり.
- 接合力: 分野を渡り歩き, つなげる力.

ファブ社会における学習(岩寄, 水野, 岡部)

■ PBL人材: Project Based Learning -->
Problem Based Learning, Performance
Based Learning

- 傾聴力: 課題発見に至る他者とのコミュニケーションの重要性.
- 課題発見力: どうつくるか --> 何をつくるか.
- 失敗耐性: 失敗を楽しめる態度.

ファブ社会における学習(岩寄, 水野, 岡部)

■ Learning1.0: 教授

- 導管的情報伝達, 一斉授業

■ Learning2.0: 共学

- ワークショップ, ピアベースドラーニング

■ Learning3.0: 世代継承性 + 独習

👉 アウチエーニエ(教授・学習)